

地域連携推進会議における報告書

場所：プリマ塩釜口 301 号室事務所

日付： 2025 年 10 月 24 日

時刻： 午後 15 時 30 分から 17 時 30 分

会議の進行： 管理者 内堀智香子

出席者（名前表示ではなく個人情報保護の観点から名字のアルファベット記載とします）

あいの手管理者：U

あいの手世話人：I 様

あいの手塩釜口利用者：S 様

あいの手塩釜口利用者の親（S 様とは別の利用者の家族）T 様

地域の関係者：O 様

福祉に知見のある方：U 様（ナーシングホーム管理者）

経営に知見のある方：A 様

会議の議題

<事業所から>

- ・障害者支援施設や共同生活援助とはどのような内容か
- ・障害者の方の特性・理解
- ・地域との関わり方や関係づくり
- ・利用者の権利擁護
- ・BCP（業務継続計画）の策定状況について
- ・日常生活の報告・近隣住人様からの苦情の共有

<構成員から>

- ・共同生活援助に対しての客観的な意見
- ・職員と地域との連携の方法
- ・他の地域の方に事業所についての理解と認知

写真1から3 (15時30分から17時)

<事業所から>

- ・ 障害者支援施設や共同生活援助とはどのような内容か
- ・ 障害者の方の特性・理解
- ・ 地域との関わり方や関係づくり
- ・ 利用者の権利擁護
- ・ BCP（業務継続計画）の策定状況について
- ・ 日常生活の報告・近隣住人様からの苦情の共有

<構成員から>

- ・ 共同生活援助に対しての客観的な意見
- ・ 職員と地域との連携の方法
- ・ 他の地域の方に事業所についての理解と認知

について話し合いを行いました。

以下のような意見をいただきました。

<事業所から>

- ① 地域の方々に知ってもらう機会を設けていただいて良かったし、会社としての考えも示すことができた
- ② 福祉以外の方の不安点（災害や火事の場合での認識や行動）など違う観点からの意見が聞けた
- ③ どのように地域参加していけば良いのか具体的な話が聞けた
- ④ 実際、利用者さんが過ごす部屋を見てみたいとの要望があった
- ⑤ 何か問題点があれば皆様すぐ集まってくださるとの快諾をいただきました。

<構成員から>

- ① 利用者から毎日の生活の過ごし方を聞いて頑張っている事が理解できた。応援できることは応援していきたいと思いました。
- ② 障害の事業所と聞いて偏見があったかもしれないです。従業員の方もしっかりしているし信念を持って仕事していることに対して素晴らしいと思いました。
- ③ 利用者の方も含め従業員の方も地域のイベントなどに参加できるなら声掛けします
- ④ 今まで障害者施設自体馴染みがなかったが、知れたし、従業員の方の考えが聞けて勉強になりました。

写真4と5 (17時から17時15分)

② 福祉以外の方の不安点（災害や火事の場合での認識や行動）など違う観点からの意見が聞けたとの意見があったので

構成員全員で各利用者の部屋から非常口までの道順を確認しました。

利用者も含め再度、非常口を再確認できました。

写真6と16 (17時15分から18時00分)

④ 実際、利用者さんが過ごす部屋を見てみたいとの要望があった

2010の部屋が空室であったので構成員全員で内覧していただきました

普段の生活空間を管理者が説明し、火の元の危険度や風呂などを確認していただきました

<総評>

17時30分までの予定が30分オーバーするぐらい活発に意見が出て意見交換ができました

初めてお会いする方がほとんどでしたが、LORDという会社も含め障害に対しての理解を少しでも伝えることができたので良い時間を過ごすことができました。貴重な時間でした

1



2



3



4



5



6

